

平成 28 年度当初予算のポイント

1 安全・安心なまちづくりの取組

災害対策は自助・共助・公助を三つの柱として相互連携を重視。また、区民・事業者・警察との連携のもと、継続的かつ効果的な防犯対策を推進。

- 避難所に女性・子どもが必要とする物資を配備、災害時要配慮者の安否確認や避難生活支援の装備を整備
- 区民の防災士資格取得助成制度拡充、区職員の防災士資格取得促進
- 沿道建築物の不燃化や共同化を促進、民間建築物の耐震化促進、大規模地震後の通電火災抑制に向けた感震ブレーカーの設置助成、空き家実態調査、呑川本流緑道雨水柵等設置工事
- 地域の団体が設置する防犯カメラの設置・維持管理経費助成、小学校全 22 校の通学路への防犯カメラ整備（28 年度完了）

2 子育て支援と福祉・教育を充実する取組

- 第四中学校跡地を活用した特養ホーム、認可保育所等の施設整備

(1) 子育て支援・教育の充実

子育て支援は、施設整備や人材確保など、ハード・ソフト両面での取組。学校教育では、子どもの生きる力をはぐくむ教育を充実。

- 旧第六中学校南側跡地、区立上目黒小学校内、目黒区総合庁舎の未舗装駐車場等を活用した認可保育所の整備補助、小規模保育事業施設の整備補助、児童館・学童保育クラブの拡充整備
- 定期利用保育の実施、病後児保育施設の開設支援、保育士の宿舍借り上げ支援、大学生等のボランティア等によるひとり親家庭学習支援、認可外保育施設保育料補助
- 年間を通じた外国語指導員派遣、全区立中学校におけるイングリッシュサマースクール実施、特別教育支援員の配置拡充、いじめ防止プログラム試行実施、東山小学校校舎改築やミストシャワー整備等教育環境改善

(2) 暮らしと健康の支援

地域包括ケアシステムの構築、障害者に対する身近な地域での相談支援体制充実・強化、区民の健康を守り支える取組、2020オリンピック・パラリンピック開催の機運醸成と区民の健康増進を図る取組。

- 地域密着型サービス基盤等の整備支援、認知症の人やその家族に関わる認知症初期集中支援チーム事業、地域交流サロン・会食サービスなど高齢者の居場所づくり、介護人材の確保・定着を支援するため民間特養ホームの介護職員宿舍借り上げ補助などの実施
- 発達障害の方やその家族の不安や悩みを軽減する支援事業、障害者の差別解消に向けた普及・啓発等の取組、失語症会話パートナー養成講座の実施
- 混雑緩和と利便性向上に向けた休日診療体制の充実、乳がん・子宮頸がんの早期発見のための女性がん検診受診券の個別通知、75歳以上の高齢者のインフルエンザ予防接種費用無料化
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催機運醸成事業（めぐろ10kmマラソン（仮称）等）の実施

3 環境と調和した持続可能な社会づくりの取組

温室効果ガス等の削減に向けた取組、循環型社会づくりに向けた取組、環境と調和した住みやすいまちを実現するための取組

- 私道防犯灯や商店街街路灯などのLED化の推進
- エコカー購入など環境に配慮した中小企業向け融資の充実
- 水銀の排出を削減し水銀汚染の防止に向けた蛍光管等の分別回収
- ふるさと「目黒のサクラ」を後世に伝えるための保全事業、目黒川の環境改善に向けたしゅんせつ工事と浄化実験の実施、地域に古くから伝えられてきた在来植物の植栽・育成、貴重なみどりを保全する南一丁目緑地公園（仮称）の整備